



大森愛子と遊ぼう!

世界で遊ぼう!

旅行好きのソムリエが、世界のあっちこちから
死ぬ前に一度は見ておくべき町を厳選してご提案します。
私がああなたの次の旅をもっとわくわくさせますよ!

- ① エンターテインメントのためだけに造られた街
- ② 砂漠の中に突如光の洪水が見えたら、そこはラスベガス!
- ③ 夜の地球を宇宙から見たとき、もっとも明るい場所はラスベガスだそう。
- ④ 無料ショーとして有名な、ベラッジオホテルの噴水ショー
- ⑤ PARISホテルの天井はパリの青空をイメージして実際の空のような演出に。
- ⑥ 街のシンボルマークになっているエッフェル塔
- ⑦ ネオンが輝くダウンタウン。天井に流れる映像と音楽で踊れます!

ラスベガス〜Las Vegas〜
そう聞いて、ああギャンブルとド派手なネオンの輝くキラキラした街、今回はちょっと興味ないなとこのページを閉じるのもう少しお待ちください。確かにラスベガスはカジノの聖地でもあります。その一面しか見ないのはあまりに惜しい! カジノ以外の目的でラスベガスを訪れる人は年々増加中。シルク・ドゥ・ソレイユを代表とするショーや、一流シェフによるミシュランの星付きレストランといった最先端の技術や人間のわざを体験でき、一人でも家族連れでも楽しめるエンターテイメント・シティ、それが今のラスベガスです。

街中で毎日エンターテイメントが行われているラスベガスでは、歩いていると何かしらのショーに当たると言っても過言ではありません。ですがこの街の最大の見どころはホテルにあり、観光客は街歩きよりホテル巡りに時間を費やします。一体ホテルでどうやって時間を潰すのかと思われるかもしれませんが、ラスベガスがほかの町と異なるのは、ホテルこそがアミューズメントパークであること。各ホテル内には劇場やエンターテイメント施設が導入されていて、無料のショー、有料のショー、絶叫マシーンやアトラクション、その他にも、レストランやカフェ、カジノ、ショッピングモールなど、あ



りとあらゆるものが揃っていて、ひとつのホテルでも1日で周りきれないくらいです。

ラスベガスのホテルはテーマホテルと呼ばれ、各ホテルがそれぞれテーマを持っています。古代ローマをイメージしたホテル、玄関前でスフィンクスとオベリスクが訪問者を出迎えるピラミッド型ホテル、砂漠にそびえ立つエッフェル塔と凱旋門、ベニスの旅情を表現するために敷地内に運河を巡らせ Gondola まで浮かべたホテル…。

世界の観光名所を全部砂漠のど真ん中に集めて、一晩で世界旅行した気分になれたら最高だよな！そんなとんでもないアイデアを実現してしまっただ街がこの世界にあるのです。本気でふざけることができるのは大人の特権。侘び寂びを美德とする慎み深き日本人には逆立ちしても相入れない世界観ですが、だからこそ異文化として体験してみるべきだと思います。

もともとラスベガスは砂漠の真ん中に作られた人工都市。昼夜問わず光の溢れる街の中心から、セスナでたった1時間、車で5時間移動すると、20億年の地球の歴史を一気に見ることのできるグランド・キャニオン国立公園に到着します。大自然の中で壮大な峡谷の景色に心奪われていると、少し離れた街の喧騒が大袈裟で悪趣味なハリボテ

であることを痛感し空々しい気分になります。あんな光輝く街こそが人が望み、努力してきたものの結果。手放しで自然を褒め称え、人工物を否定するのはあまりに身勝手というもの。神様が作った自然美がグランド・キャニオンにあるならば、人が作った人工美をラスベガスの街に認めてもいいはずですよ。

街全体が入場無料の巨大なテーマパークであり、毎日がお祭り騒ぎ。現実感を無視した異様な空間に魅せられ、リピートしたくなる街ナンバーワンとも言われるラスベガス。過剰に老衰を恐れるアメリカの作った夢の街、天国か悪夢かは人それぞれですが、目を開けたまま見られる夢は世界中ここにしかないはずですよ。



- 8 最高の思い出を作りたいならディナーはJoel Robuchonへ
- 9 日本語堪能なソムリエがメニューにぴったりのワインを選んでくれます。
- 10 お気に入りのレストランはGuy Savoi
- 11 シルク・ドゥ・ソレイユの人間離れしたパフォーマンスは夢を見ているようです。
- 12 Le Reve。特別席はシャンパンとイチゴのサービス付き
- 13 KA。見たいショーがたくさんありすぎて選びきれない！
- 14 グランド・キャニオン。街遊びだけでなく壮大な自然も体感できます。
- 15 大人のための遊園地